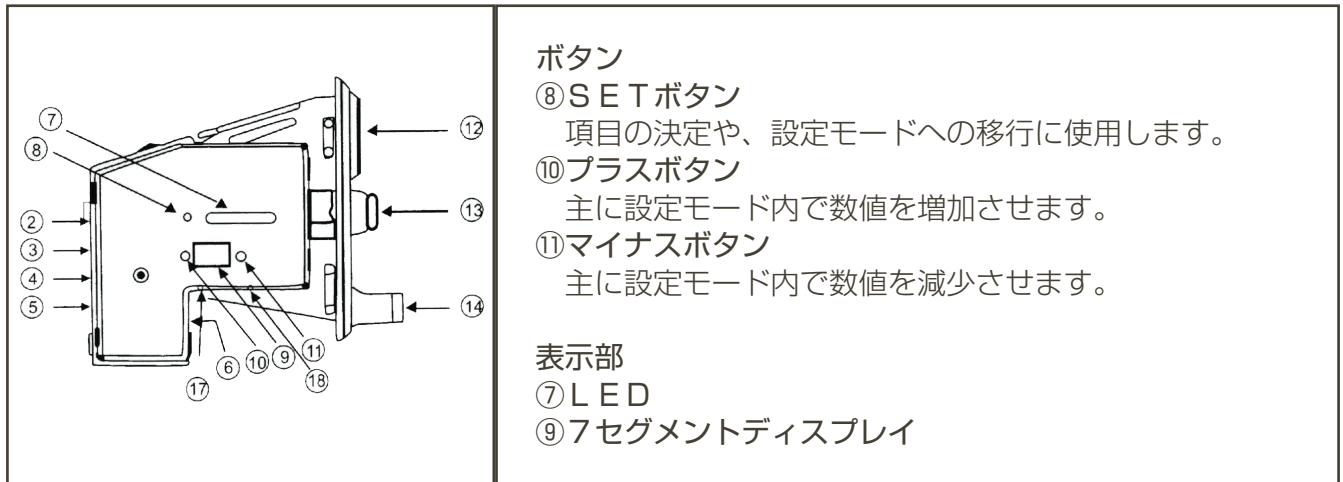


コインセレクター HS-636 の設定

本機搭載のコインセレクター HS-636はスキャンによって、最大6金種までの認識が可能です。

(工場出荷時設定は以下の3金種に設定されています：100円硬貨－1クレジット、旧500円硬貨－5クレジット、新500円硬貨－5クレジット)



全体設定モードへの移行

①プラスボタン、マイナスボタンを同時に2秒以上押し続けると、7セグメントディスプレイに「A」が表示されます（「A」の表示後5秒経過すると待機状態に戻ります）。

②「A」の表示中にSETボタンを押すと7セグメントディスプレイの表示が「E」に切り替わり、全体設定モードに移行します。

全体設定モード

全体設定モードでは、プラスボタン、マイナスボタンで選択中の項目の調整を行い、SETボタンで決定します。調整を行わずにSETボタンを押すと次の項目に進みます。この場合、調整を行わなかった項目の設定は維持されます。

①「E」モード（最初のみ）

最初に使用するコインの種類数を設定します。最大6種類までの設定が可能です（標準：3）。

以降は、ここで設定した数値に応じて「H」「P」「F」モードの周回数が増加します。

例：「E」モードで3を設定した場合、「H1」「P1」「F1」、「H2」「P2」「F2」、「H3」「P3」「F3」、とそれぞれの硬貨に対して設定を行います。

②「H」モード（「E」モードで設定した回数分周回）

コイン登録時のスキャン回数を1回～20回の間で設定します（標準：20）。

コイン識別時の精度に影響する恐れがありますので、標準の20回を設定します。

コインセクター HS-636 の設定

③「P」モード（「E」モードで設定した回数分周回）

コインに対するクレジット数を1～50の間で設定します。

例：1種類目が100円硬貨、クレジット数を1に設定する場合、「P1」では1を設定します。

④「F」モード（「E」モードで設定した回数分周回）

コイン投入時のスキャン精度を1～20の間で設定します（標準：8）。

数値が低いほど精度が高くなります（1：最高精度、20：最低精度）。

スキャン精度を高くすると誤認識や偽造硬貨を防止することが可能ですが、多少のコイン汚れ等によって正常なコインも認識しなくなる可能性があります。

全体設定モードを、「E」モードで設定した金種数の分周回すると、待機状態に戻ります。

全体設定モードで設定変更を行うとコインのスキャンデータは削除されますので、再度コインのスキャンを行う必要があります。下記に従い、コインスキャンモードへ移行してください。

コインスキャンモードへの移行

①SETボタンを押すと7セグメントディスプレイに「A」が表示されます（「A」の表示後5秒経過すると待機状態に戻ります）。

②「A」の表示中にもう一度SETボタンを押すと、7セグメントディスプレイの表示が「A1」に切り替わり、LEDが1つ点灯し、コインスキャンモードに移行します。

コインスキャンモード

コインスキャンモードでは、全体設定モード時の設定に応じてそれぞれの硬貨のスキャンを行います。

スキャンの手順

コインスキャンモードに移行すると7セグメントディスプレイに「A1」と表示され、LEDが1つ点灯し、1枚目のコインのスキャンが行えます。

ここでスキャンするコインには、「H1」「P1」「F1」の設定が反映されます。

「H1」で設定した回数分、コインセクターにコインを投入します。

設定数分コインを投入するとスキャンは完了します。LEDが点滅した後、7セグメントディスプレイに「A2」、LEDが2つ点灯し、2枚目のコインのスキャンに移ります（全体設定モードで「E」を2以上に設定していた場合に限りです）。

ここでスキャンするコインには、同様に「H2」「P2」「F2」の設定が反映されます。

全体設定「E」モードで指定した種類分、コインのスキャンが完了するとLEDが点滅し、待機状態に戻ります。